(令和7年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 志布志市 (都道府県: 鹿児島県)
 本事業の担当部局名 総合政策課

事業メニュー		地域結婚支援重点推進事業			
区分		一般メニュー			
関連事業メニュー		1.1.2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー			
個別事業名		志布志市出会いサポート応援事業		新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日		事業開始年度	平成 19 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1		1,200,000			円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2		<p>(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題)※全事業共通 令和3年人口動態統計調査結果によると、本市の婚姻件数は93件、婚姻率は3.3であり、前年度と比較すると婚姻件数△10件、婚姻率は△0.3となっている。また、出生率は6.3、合計特殊出生率は1.60で前年度と比較すると出生率△0.4、合計特殊出生率は△0.1となっており、総合的に見て人口減少及び少子化が進んでいることから、婚姻率及び出生率の向上を図る事業の推進が求められている。 なお、本市においては令和4年3月に策定された「第2期志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)」において、「結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる」ことを基本目標の1つとし、具体的な施策として「結婚支援プロジェクト」を掲げている。プロジェクトにおいては、結婚、妊娠・出産、子育ての各段階のうち、特に結婚段階を支援するため、若い世代への結婚に至る前の出会いの場の提供や新婚世帯の経済的支援に取り組むこととしている。</p> <p>(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像>※全事業共通 過年度に引き続き、若い世代への結婚に至る前の出会いの場の提供や新婚世帯の経済的支援に取り組む。その際、EBPMを意識した事業を推進するため、対象者に対してアンケート調査等を行い、次年度以降により効果的な取組を行うように留意する。また、結婚新生活支援事業を実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行う。 <本個別事業の位置付け> 本事業については、上記の「結婚支援プロジェクト」に位置付けられた「若い世代への結婚に至る前の出会いの場の提供」に係る事業である。</p> <p>(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) イベントの開催において女性参加者の集客に苦慮しており、周知方法、イベント内容の魅力化が課題となっているため、多様なニーズに合わせた婚活イベントの開催をそれぞれ目指し、屋内での開催だけでなく、アウトドアやサイクリング、伝統工芸体験など、参加者が共同で体験できるようなイベント開催を検討する。 周知方法については、県のイベントシステムを活用し、より広い範囲で周知を図るものとする。また、本事業は委託事業で実施することとし、結婚支援を専門とする事業者等に委託することで、参加者へのきめ細かいサポートを目指す。 また、イベントにおいて、県のマッチングシステムへの会員登録案内を行い、継続的なフォローができるようにする。</p>			
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	結婚応援セミナーの開催	婚活イベントの実施前に、結婚活動を行う独身男女(各10名程度)を対象とし、自己PR力や会話テクニックなど参加者自身の内面の魅力向上や、第一印象をよくするためのファッション等についての事前セミナーを2回開催し、婚活イベント参加までのフォローアップを行う。 参加者に対しては、県マッチングシステムへの会員登録案内を行い、継続的にフォローできるようにする。		○
	2	婚活イベントの開催	結婚活動を行う独身男女(各10名程度)を対象とした婚活イベントを4回実施することで出会いの場を提供し、結婚を望む独身男女の希望をかなえ、志布志市の婚姻数を増加させる。 周知は県のイベントシステムも効果的に活用することで、より広い範囲に周知できるようにする。 参加者に対しては、県マッチングシステムへの会員登録案内を行い、継続的にフォローできるようにする。	○	○
	3				
<p>【次年度以降に向けた事業の方向性】 結婚応援セミナーと婚活イベントの成果(参加者数、カップル成立数等)や参加者アンケート結果(情報入手経路、イベント内容等)に基づき、セミナーやイベントの開催日時・場所、周知方法、イベントの内容等について、より効果的な実施方法を検証し、次年度に向けた改善を行う。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 志布志市出会いサポート応援事業</p>					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値	
		婚活イベントによるカップル成立数		組	10 (令和7年度累計)	8 (令和6年度累計)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績		
	合計特殊出生率			1.60 (令和3年度)		
	婚姻件数		件	93 (令和3年度)		
		婚姻率		3.3 (令和3年度)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値	
	事業内容 番号	項目				
		(アウトプット)				
	1	セミナー参加者数	人	80 (令和7年度)	51 (令和6年度)	
	2	婚活イベント参加者数	人	80 (令和7年度)	51 (令和6年度)	
	3	募集定員数に対する参加者数の割合	%	80 (令和7年度)	67 (令和6年度)	
	4	県マッチングシステムへの会員登録者数	人	20 (令和7年度)	18 (令和6年度)	
	(アウトカム)					
	1	婚活イベントによる成立数	組	10 (令和7年度累計)	8 (令和6年度累計)	
	2	セミナー受講後、婚活に対し自信がついた参加者の割合	%	80 (令和7年度)	91 (令和6年度)	
	3	セミナーを友人等に薦めたいと思った参加者の割合	%	90 (令和7年度)	75 (令和6年度)	
	4	婚活イベントを友人等に薦めたいと思った参加者の割合	%	95 (令和7年度)	75 (令和6年度)	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<p><鹿児島県の役割> 県はイベントシステムを市が利用できるよう提供し、本事業の周知に努める。</p> <p><志布志市の役割> 鹿児島県のマッチングシステムへの会員登録を、本事業参加者に薦める。</p>					
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	<p><民間事業者の役割> 本事業は委託事業とし、委託先事業者がセミナー及びイベントを企画運営する。</p> <p><志布志市の役割> 市は広報の支援を行う。</p>					

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。